

令和6年度

生活環境学部

第3年次編入学者選抜学力試験問題

小 論 文

〔文化情報学科 生活文化学コース〕

令和5年6月10日(土)

13:00~14:30

注 意

1. 解答は、別添の解答用紙に書くこと。
2. 総ページ数 ——— 4ページ
問題ページ ——— 第2~4ページ
(第1ページは、下書き用紙)
3. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

以下の資料 A,B は、ChatGPT などの AI について、それぞれインタビュー形式で論じたものです。資料 A,B を読んで設問に答えなさい。

【設問】

- 1 2040 年には AI により社会はどのように変化していると思いますか。AI のもたらす変化の良い側面、悪い側面について予想し、それぞれ 300 字以内で書きなさい。
 - 1) AI のもたらす変化の良い側面
 - 2) AI のもたらす変化の悪い側面

- 2 AI には真似することのできない、人間だけの性質は何であると考えますか (300 字以内)。

- 3 今後 AI がさらに社会に浸透すると考えた場合、今後の教育はどのような能力・知識を得ることを重視するべきであると思いますか。また、どのような能力・知識は重視する必要がなくなると考えますか。下線部(a)を読んで、あなたの考えを述べなさい (400 字以内)。

【資料】

A

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

B

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

出典：

- 1) 新井紀子 (2023) 「未熟な技術をもたらすリスクを背負う覚悟があるか」 『ChatGPT 仕事術革命 週刊東洋経済 2023年4月22日号』 pp.74-75.
- 2) チェン・チウファン (2023) 「ディストピアを阻止できるのは人間の希望だけ」 『ChatGPT 仕事術革命 週刊東洋経済 2023年4月22日号』 pp.64-65.